

TOYOBA SEIYA

Collection Highlights

# 豊場惺也展

—うつわを愉しむ

-Taking joy in ceramic ware

コレクション  
・ハイライト

2023

5.16火 → 8.27日

岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーIIでは、下記の展覧会を開催いたします。  
貴媒体での取材や紹介のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 開催概要

新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、予定に変更が生じる場合がございます。  
展覧会の開催状況や会期中の催事については、当館 HP をご覧ください。

◆ 会場：岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーII

◇豊場惺也展—うつわを愉しむ A室

◇コレクション・ハイライト B-D室

◆ 会期：2023年5月16日（火）～8月27日（日）

◆ 休館日：月曜日（ただし、7月17日は開館）、7月18日

◆ 開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

◆ 観覧料：一般340円（280円）、大学生220円（160円）、高校生以下無料

\*（ ）内は20名以上の団体料金

\*以下の手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証

◆ 主催：岐阜県現代陶芸美術館

◆ 同時開催：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

◇「やきものにうたう：ハンガリー現代陶芸展」

2023年4月22日（土）～7月2日（日）

◇「大地のこどもたち2023」

2023年7月29日（土）～8月27日（日）

## 広報用写真の利用について

本展覧会を紹介いただける場合に限り、裏面①、②、③の画像データ（1点300～500KB程度）をお送りします。  
希望される方は、次の必要事項を記載し、下記担当までメールまたはFAXにてお知らせください。

1. 利用希望の写真の番号（①・②・③） / 2. 貴社名（ご担当者名） / 3. ご住所 / 4. 電話番号・FAX / 5. E-mail /  
6. 掲載媒体名 / 7. 題目 / 8. 掲載予定日 / 9. その他（連絡事項などある場合）

## 本展に関するお問合せ・写真利用申込

展覧会担当：花井（豊場惺也展）・立花（コレクション・ハイライト）

写真データ貸出：野田・廣澤（岐阜県現代陶芸美術館 学芸部）

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパーク MINO 内）

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101 E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

1942年に名古屋の刀剣鑑定の家生まれた豊場惺也は、名古屋市立工芸高等学校木工科を卒業後、「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者である荒川豊蔵の内弟子となりました。荒川が指導していた水月窯や大萱の陶房で修業し、師の薫陶を受けた豊場は1974年、可児市大萱<sup>おおがや</sup>窯下に穴窯を築窯して独立し、以降個展での発表を中心に活動を続けています。2018年、可児市指定重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者に認定されました。

豊場の手から生み出されるうつわたちは、作家の人柄をあらわした穏やかさと温かさに溢れています。土、ろくろから生み出される素直なかたち、そして人為の及ばない焼成さえもそのままに受けとめて作陶する、作家自身の愉しむところを映し出すようなうつわたち。本展では、茶陶と食器という、豊場が取り組み続ける二つのうつわの世界を中心に、瀬戸黒、志野、黄瀬戸、粉吹、唐津など多彩な技法で、大萱の自然と暮らしのなかで作り続け、生まれてきたうつわたちを紹介します。豊場惺也のうつわの世界の魅力を、愉しみながらご覧ください。

### <関連のイベント>

#### トークイベント「豊場惺也氏とうつわを語る」

ゲスト 豊場惺也（本展出品作家）、森由美（陶磁研究家）

日時 2023年6月11日（日）14:00～15:30

会場 岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム

定員 40名

聴講無料、要事前申込

#### ○学芸員によるギャラリートーク

日時 2023年5月21日（日）14:00～14:30

聴講無料（ただし要観覧券）、事前申込不要

\*詳しい情報やお申込み方法、その他会期中の催事については  
当館ウェブサイトをご確認ください。



①黄瀬戸水指



②瀬戸黒茶碗



③染付湯呑、るり手湯呑、染付蓋物

「コレクション・ハイライト」は、岐阜県現代陶芸美術館における陶磁器コレクションの特色を紹介するコーナーです。当館では、個人作家の制作による一点ものの作品はもちろん、量産を前提にデザインされた製品の収集など幅広くおこなっています。

ここでは令和4(2022)年度、新たに収集した作品と、それらに関連する既存のコレクションを併せて展示します。このことによって、どのような文脈に沿ってそれぞれの作品が館藏品となったかという視点もご覧いただけます。

#### 【主な出品作家／窯等（新規収蔵品を中心に）】

セーヴル、ウェッジウッド、ロイヤル・ドルトン、藪明山、十三代三輪休雪、若尾利貞